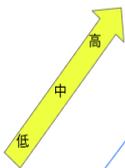


# 西東京ふるさと探究学習

【単元名】 地域のよさを見つけよう

【ねらい】 身近な自然に対して、興味関心をもち、意欲的に関わり地域の自然のよさを見つけることができる。

小学校における環境教育のねらい  
(参考：国立教育政策研究所)



③環境に働きかける実践力の育成  
(持続可能な社会の構築に向けて)

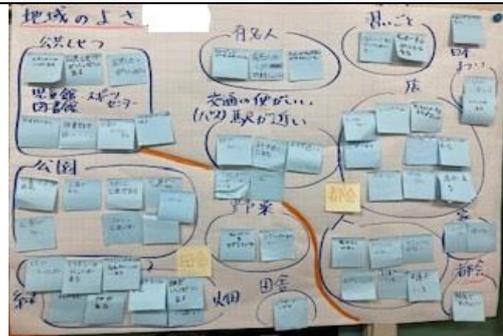
②環境に関する見方や考え方の育成  
(身近な環境での問題発見・解決  
による知識・技能の獲得)

本単元の重点  
(ふるさと探究学習)

①環境に対する豊かな感受性の育成

身近な環境(自然的・社会的・文化的環境)に対して、興味関心をもち、意欲的に関わり、環境に対する豊かな感受性をもつことができる。

谷戸小学校では、ふるさと探究学習を土台として、環境教育を位置づけ、一年間、総合的な学習として取り組みました。



単元の始めに、「地域のいいところはどこか？」というアンケートを児童に取った結果、自然が多いこと(田舎的な要素)や都会的な要素も、どちらも認識していることが分かりました。



11月21日(火)地域の緑調べ  
・自分たちの住む学区域に緑(自然)がどのくらいあるのかを調べました。



大谷農園での大根作り体験

- ・9月19日(火)種まき
- ・10月17日(火)間引き
- ・12月5日(火)収穫
- ・農家の大谷さんにご指導いただきながら、一本2キログラムもある大根を収穫しました。

## まとめ

「地域の緑調べ」「大根作り体験」を通して、身近な自然に対する興味関心が深まりました。また、「自然がなくなってしまうと生き物は生きていくことはできない」と感想をもつなど、自然と生き物のつながりにも目を向けることができました。